

学年	高校1年	教科	公民	科目	公共	単位数	2
教科書名	公共（実教出版）			副教材名	2022 ズームアップ公共資料（実教出版）		
コース・クラス	中高一貫、選抜・N進、 スポーツ・芸能						

I. 目標

1. 民主主義の本質を理解し、広い視野から政治・経済・国際関係について客観的な理解力、公正な判断力、良識ある公民として必要な態度を育てる。
2. 現代社会に存在する諸課題について主体的に考察し、解決策を探求する。
3. 3年次の基礎学力到達度テストをめざし、基礎的な実力を養う。

II. 授業のねらい

1. 世の中が直面している諸問題を扱い、自分たちの身近な問題として捉えさせ、日本の立場、解決策を考えさせる。
2. 資料集を効果的に使い、最新のデータや図表を読み取る力を育成し、新しい入試に対応できるようにさせる。
3. 基礎学力到達度テストの難易度と出題傾向を意識し、過去問を用いる等、テストに対応できる学力を身につけさせる。

III. 授業の進め方

1. 板書を使用した講義に加え、iPad や AppleTV 等の ICT 教材を有効に使って効率的に授業を進める。
2. 第2部-2-第1章「現代の経済社会」及び、3-第2章「国際経済の動向と課題」に関しては、授業時数の関係で割愛するが、授業の進行に応じて扱うことがある。
3. 毎時間、時事問題に触れることで世の中の動きや情勢をつかみ、付随する知識も身につけさせる。
4. 学期ごとに小テストを実施し、生徒の理解度を確認する。

IV. 学習上の留意点

1. 主体的に学習し、常に自分の考えを持てるようにすること。
2. 単に専門用語の暗記のみならず、歴史的・政治的な背景についても理解すること。
3. 板書をノートに取るだけでなく、口頭での説明を細かくメモし多くの知識を身につけること。

V. 定期試験

- 1 学期 期末試験 : 倫理分野
- 2 学期 中間試験 : 政治分野
- 2 学期 期末試験 : 経済分野
- 3 学期 学年末試験 : 国際分野

VI. 評価の方法

1. 各学期の定期試験
2. 小テスト
3. 提出物などの総合評価。

Ⅶ. 授業計画

学期	月	単元	試験等	学習目標
一学期	4	第1部 公共の扉 第1章 社会をつくる私たち 1 青年期とは 2 自己形成の課題 (1) 3 自己形成の課題 (2) 4 職業生活と社会参加 5 伝統・文化と私たち	小テスト 小テスト 期末試験	自己を確立していくために、青年期の意義と課題について考察する。また、心身の成長に伴って様々な欲求と葛藤を抱き、その経験が自己形成につながっていくというを理解する。 働くことの意義を多角的に考え、将来の進路選択を的確にできるようにする。
	5	第2章 人間としてよく生きる 1 古代ギリシャの人間観 2 科学と人間 3 自由の実現 4 社会を作る人間		哲学者の思想を手掛かりとして、人間としての自覚を深め、生きる意義を考え、望ましい人間関係を構築できるようにする。単なる用語の暗記にとどまらず、どのように社会生活を送っていくべきかということを考える。
	6	第3章 他者とともに生きる 1 人間と幸福 2 公正な社会をめざして		人間の尊厳と平等が、現代社会の中でどのように扱われ、問題となっているのか、現状認識だけではなく改善策についても考察する。
	7	第4章 民主社会の倫理 1 人間の尊厳と平等 2 自由・権利と責任・義務	期末試験	自由の対には責任が、権利の対には義務があるということをきちんと理解する。
二学期	9	第5章 民主国家における基本原理 1 民主政治の成立 2 民主政治の基本原理 3 民主政治のしくみと課題 4 世界の主な政治制度	小テスト 中間試験 小テスト 期末試験	政治とは何か、政治の役割は何かを知ることから、民主政治の重要性を理解する。民主政治は歴史的に、いつ、どこで、どのように成立したのかについて、用語の暗記と共に学習する。その上で、現在、世界にはどのような政治制度があるのか、特徴を知り課題についても考察する。
	10	第2部 よりよい社会の形成に参加する私たち 1 現代の民主政治と日本国憲法 第1章 日本国憲法の基本的性格 1 日本国憲法の成立 2 日本国憲法の基本的性格 3 自由に生きる権利 4 平等に生きる権利 5 社会権と参政権・請求権 6 新しい人権 7 人権の広がりや公共の福祉 8 平和主義とわが国の安全 9 こんにちの防衛問題		日本国憲法の成立過程及び基本的性格（三大原則）について、大日本帝国憲法との比較を通して理解する。人権保障の各規程と権利の制限について学習し、今日における日本国憲法の意義を知る。その中で、権利の濫用とならないよう、公共の福祉の重要性についても考察する。安全保障に関する問題は、難易度が高いが、時代と共にどのように変化してきたかということもしっかりと把握する。
	11	第2章 日本の政治機構と政治参加 1 政治機構と国会 2 行政権と行政機能の拡大 3 公正な裁判の保障 4 地方自治と住民福祉 5 政党政治 6 選挙制度 7 世論と政治参加		立法、行政、司法、それぞれの権限を理解すると共に、抑制と均衡の関係にあることも知る。また、現状における課題についても考察し、自分なりに問題意識を持てるようにする。 自分の身近な地方政治には、どのような役割があり、これについても現状と課題を把握する。
	12	2 現代の経済社会と国民生活 第2章 日本経済の特質と国民生活 1 戦後日本経済の成長と課題 2 転機に立つ日本経済 3 経済社会の変化と中小企業 4 農業と食料問題 5 消費者問題 6 公害の防止と環境保全 7 労働問題と労働者の権利 8 こんにちの労働問題 9 社会保障の役割 10 社会保障制度の課題	小テスト 期末試験	政党と選挙、世論の役割について学習し、日本の政治が抱えている様々な問題について考える。また、有権者として投票することの意義や責任を理解し、政治に参加する意識を身につける。 敗戦後の日本が、高度経済成長を経て、GDP 世界第3位の経済大国へととなった経緯を知る。その中で生じている、格差問題、少子化問題、中小企業問題、農業・食糧問題、消費者問題、環境・公害問題、労働問題、社会保障制度問題など、多種多様な課題について理解する。また、それらの諸問題に対する国や地方自治体の取り組みについても考察し、問題点を把握することにとどまらず、自分自身の問題と捉えて解決策を考えられるようにする。
三学期	1	3 国際社会と人類の課題 第1章 国際政治の動向と課題	小テスト 学年末試験	国際法の意義と役割を理解し、領土問題等を例にしてその課題について考察する。
	2	1 国際社会と国際法 2 国際連合と国際協力 3 こんにちの国際政治 4 人権・民族問題		国際連合、冷戦終結後の国際政治、人種・民族問題、核軍縮や管理について学習し、国際社会と日本の関係について歴史的背景も含めて理解し、その中で、日本にはどのようなことを求められていて、自分には何が出来るのかについて考える。
	3	5 軍拡競争から軍縮へ 6 国際平和と日本の役割		

※ シラバスの内容については、進捗状況、理解度、その他の都合により変更することがある。